

通信

NO. 135
2024年4月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目

33番11-702号

☎092-982-5177

今月のスケッチ



初めての福島岳温泉の朝日。
雨上がりの夜明け、空が刻々と
変化し、黄色に色づき、ました。



スタ
コラ

組織はゲームで 風通しよく

高尾 英正

このところ多くの組織から
「ハラスメントセミナー」の問
合せが増えています。

最近ではマルハラってある
の知っていますか？

「マルハラスメント」の略称
で「承知しました。」「はい。」「
連絡ください。」など、中高
年から送られてくるメッセー
ジの文末に句点がついている
ことに対し、若者が距離感や冷

たさを感じて恐怖心を
抱くというハラスメン
トらしいです。

このハラスメントっ
てどこまで行くのだろ
う、とハラスメントセ
ミナーをこの20年
やっている（当時はも
ちろんここまでハラス
メントにスポットは当
たってなかった）セン
パイ講師に話を聴いた
ら、やはり今は異常な
くらい組織がハラスメ
ントに怯えているそう
です。

というハラスメントブ
ーム?!の今、組織全体で大切な
ことは風通しが良いことす
ね。

そこで言われることがコミ
ュニケーション不足。

これはハラスメント対策に
限ったことでなく組織がより
良くなるための課題の1つ。

で弊社は今、ゲーム研修ブ
ームです(笑)。

もともと組織ゲームの1つ
役割ゲームや体を動かしたり、
様々なツールを使ったりする
ゲームは組織活性のために導
入してきましたが、最近人気の
のが「人生すごろく金の糸」や
「価値観ババ抜き」。

「人生すごろく金の糸」は、京
都産業大学とJCDA(独日本
キャリア開発協会)が考案した
すごろくで、自身の軸などをす
ごろくしながら見直すゲーム。

「人生すごろく金の糸」就職活
動において学生が相談したい

俳人九条の会・大分

大分県内の俳人、俳句
愛好者らでつくる「俳人
九条の会・大分」(万葉
太郎会長)は7月に大分
市で開催する「平和・九
条俳句大会」に向けて、
県外も含め広く投句を募
集しています。

会事務局は、能登平島
沖地震、ロシアのウクラ
イナ侵略、イスラエルの
ガザ攻撃、岸田政権の戦
争する国づくりなど、
「今ほど平和と命の尊さ
が切望されている時はな
い」と訴え、「ぜひ多く
の方に『戦争・平和・九
条』への思いを作品に託
してほしい」と呼びかけ
ています。

大会は今年で18回目。
昨年は県外を含む166
人から過去最高593句
の投句がありました。

3後藤勝利さん(〒87
9-17306大分県豊後
大野市大飼町下津尾97
8)

平和な どテーマに作品募集

募集内容は次の通り。

▽投句は1人4句まで▽

住所・俳号(氏名)・電

話番号を明記して郵送か

フックスで事務局まで▽

締め切りは6月7日▽投

句者全員で選句を行い、

入選作品は7月25日の大

会で発表・表彰します。

問い合わせは事務局0

90(8288)7355

3後藤勝利さん(〒87

9-17306大分県豊後

大野市大飼町下津尾97

8)

こと NO. 1 は、「自分の
ことがわからない」というもの
です。

「価値観ババ抜き」は価値観
カードを持ってトランプのバ
バ抜きのように楽しみながら
自身や他者の価値観を見直す、
気づきゲーム。

いずれもとにかくワイワイ
ガヤガヤと研修会場が盛り上
がります。

いろんなテーマのゲームで、
声かけあい他者と関わる姿が
いつ見ても楽しく嬉しくなり
ますね。

と、後半はゲームの営業にな
りましたが(笑)、組織がいつま
でも継続発展するために、永遠
のテーマ「コミュニケーション」についてゲームを通じてさ
らに深めていきたいと思うこ
の頃です。

Relationship & Partnership
B ビジネス 総研

<https://www.b-souken.com>



映画大好き
の山ちゃん
が、毎回、
自分の言葉
で執筆しま
す。

カラーパール



監督：ブリッツ・バザウーレ
出演：ファンテイジア・バリーノ
タラジ・P・ヘンソン
ダニエル・ブルックス
2024年 米：ワーナー・ブラザーズ

20世紀前半の米ジョージア州を舞台に、虐げられた黒人女性の絶望と再生を描いたミュージカル。

父親と夫に支配され、唯一心の支えだった妹と生き別れたセリーは、自由のない生活を送っていた。

そんな中セリーは、自由で型破りな女性たちと出会い、彼女たちの生き方に心を動かされ、少しずつ自分を愛し未来を変えていこうとする。

そして遂に、セリーは家を出る決意をし、運命が大きく動き出す…。

立ちふさがる運命に、不屈の魂とユーモアで何度でも立ち上がる姿と魂に届く歌声が、心に強く響いた。

まず自分が変われば、他の人も変わるし、変えられるのだ！
この映画を観て強く感じた。

くまさんのコンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

“国賓待遇”なぜ？ 岸田首相の訪米

岸田総理は、2024年4月8日～14日の日程で訪米し、バイデン大統領と日米首脳会談を行った。

この首脳会談は、「岸田首相が米国から国賓待遇で招待」を受けて行われたとされている。

「再選するかどうか分からないバイデン大統領」と、「いつ辞めるか分からない岸田首相」とも揶揄されているのに“なぜ、国賓待遇”かと、違和感を持った。

訪米後の報道によって、その“違和感”の原因が解明された。

首相は、この首脳会談で、日米関係をインド太平洋地域を越えた「グローバルなパートナーシップ」と位置づける共同声明に合意し、両首脳は中国への対抗を念頭に、安保、経済、先端技術など幅広い分野での協力を盛り込んだ共同声明を発表している。

とくに、安保分野で打ち出された米軍と自衛隊の部隊運用にかかわる「指揮統制」の連携強化は「日米同盟発足以来、最も重要な改善」（バイデン氏）

とされ、日米間の安保協力の根幹を変質させ、有事に自衛隊が米軍の指揮下に事実上入りかねないリスクをはらんでいる。

また、米国のリーダーシップを手放しで称賛し、「米国は独りではない。日本は米国と共にある」と強調。日本の防衛費の大幅増額や敵基地攻撃能力(反撃能力)保有を紹介しつつ、日本も米国と一緒に国際秩序維持に責任を負う決意を示している。

なるほど、今以上に、“アメリカに隷属する日本”を表明するための、国賓待遇だったのか。

「“平和国家・日本の理念”を踏みにじり、どこを目指すのか。もうかじ取りは任せられない。」との思いを強くしている。



編集後記

4月に「真夏日」。地球温暖化の影響が広がっている。

庭の草花の状況も冬と春と夏が混在している。



日本列島も南北の気温が逆になったり、温暖化の影響が、一体これからどうなるのか心配だ。

Relationship & Partnership
ビジネス総研
ビジネス総研株式会社
福岡市博多区博多駅前4-33-11-702
☎092-982-5177 FAX092-982-6170
Eメール kuma@b-souken.com
<https://www.b-souken.com>